

図書館 だより



No.77
新 入 生
歓 迎 号

2009.4

Fuji Women's University Library

読書のすすめ

学校法人 藤学園
理事長 永田 淑子

藤女子大学の学生となられた皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、字を読めるようになった子供の時から本を読むことに興味を覚え、物語の世界に入り込んで夢中になって、ハラハラドキドキしたり、涙を流したりした経験があることと思います。本を読むことの意味は何でしょうか？

本によって私たちは自分の経験を豊かにすることができます。本を読むことによって様々な人物や出来事に出会い、自分の考え方、感情などが大きく成長していきます。それは、想像力という人間に与えられている素晴らしい能力を使って、自分が経験していないことをあたかも自分の体験のように受け止めるからです。人は想像力によって、他者の喜びや悲しみや痛みを感じることができるようになります。



また、本を通して私たちは自分の知らなかったことに会う喜びを体験します。未知と出会い、自分の知性が開かれていく喜び。これこそ大学生活のもたらす豊かさでしょう。

学生時代は、読書に耽る時間も存分に持てるはずの貴重な時。読書を通して想像力と知性を養い、それによって創造力も育てていただきたいものです。21世紀はあなたたちが造っていく時代です。人間性豊かな世紀を創るために、たくさん良質の本を読んでこれからの学生時代を心豊かに過ごしてください。本学の図書館は、そのために非常に恵まれた場です。図書館の豊富な蔵書が、あなたたちの来館を待っています。

C O N T E N T S

読書のすすめ.....①	永田 淑子
新入生のみなさんへ（読書案内）.....②	関谷 博
図書館特別展示紹介.....④	

図書館実習生の感想から.....⑥	
2008年度 図書館のあたらしい動き.....⑥	
図書館委員会からのお知らせ.....⑦	
図書館の利用状況から.....⑦	
図書館員のオススメ本 第6回.....⑧	

新入生のみなさんへ【読書案内】

文学部日本語・日本文学科 関谷 博

新入生の皆さん、入学おめでとう。今のこの晴れの気分そのままに、四年後の春また、卒業おめでとう、となっていたいものです（なぬ？ このオヤジ何をいう気だ？）。仮に、そうなる、と前提してみましょう。その場合、これから始まる皆さんの四年間について、今現在確かにこうと言えるのはどういうことでしょうか。あなたはこの四年間で、深い教養と知性の持ち主となって、立派な社会人としてここを巣立つ一、か、どうかは、あなた次第です。だから全然確かではありません。確かなのは、あなたがこの大学に四百万円前後のお金を納める（そうしないと前提そのものが成り立たない）一、今はっきりしているのは、これだけです。う～ん、ぼやぼやしては、“もったいない！” ね。



1.『ギフト』『ヴォイス』『パワー』／アーシュラ・K・ル＝グウィン著

河出書房新社 本館所蔵 請求記号：A933.5j|L52j|1-3

ジブリ映画で話題の『ゲド戦記』（最近岩波少年文庫化）全六巻一どれもすばらしい。しかしアニメは原作をこの上なく醜く歪曲した愚作でした一の著者アーシュラ・K・ル＝グウィン（1929～）の新作「西のはての年代記」全三巻が翻訳されました。今年八十歳になるル＝グウィンが彼女の生きた二十世紀という時代体験をぎゅっと煮詰めて、そこから静かに力強く紡ぎ出された世界、といったところか。例えば第二巻『ヴォイス』は都市国家アンサルが長いオールド人による侵略と占領に立ち上がる物語（主人公の少女メマーは、アンサルの名家出身の母がオールド兵に強姦されて生んだ娘）ですが、これを第二次大戦後の東欧諸国の運命と重ね合わせて読む誘惑に逆らうのはむずかしい。三作すべて、奴隷制・封建制・民主制あるいは抵抗運動・革命政府・市民社会等々の“教科書言葉”（？）を生き生きと肉付ける最良の機会となってくれるでしょう（『パワー』後半、主人公ガヴィアが追っ手からひたすら逃げる、逃げる、逃げるシーンは『指輪物語』へのオマージュか）。最後に、ル＝グウィンの世界の本質を解く決定的鍵が「序文『イシ』再版に寄せて」という、彼女自身の手になる、かぎりなく美しい小文（シオドーラ・クローバー著『イシー北米最後の野生インディアン』所収）であることを付記しておきます。



2.『逝きし世の面影』／渡辺京二著 平凡社ライブラリー 本館所蔵 請求記号：210.5j|W46

著者は渡辺京二（1930～）、ずう～っと売れない本を書き続けてきた反骨精神ばりばりの評論家（その『神風連とその時代』『評伝 宮崎滔天』『北一輝』『日本コミュニオン主義の系譜』はどれも悉く名著だ。が、売れない）です。

ところがこの本だけは、右寄り知識人（平川裕弘や藤原正彦）、極右政治家（石原慎太郎）などにもてはやされてか、大いに売れているようです。身分社会の旧き日本を美化してくれる好都合な本と見なされたのでしょう。しかし、そうした身勝手な右翼的読みは、最終章「心の垣根」を無視しない限り、決して成り立ちません。

本書は、幕末・明治初期に来日した外国人（主に欧米の軍人・外交官・植民地官僚・学者・商人ら。彼らのほとんどは日本上陸以前に、インド・東南アジア・中国を経験していた）が書き残した日本見聞記だけを資料として、当時の日本の姿を再構成したものです。彼らは“何を見てもワンドフル！”の幼稚な観光客ではなく、産業化が進んだ彼らの母国の都市と、彼らが植民地化したアジアの諸都市とを、常に念頭に置きつつ、それらとの比較を通じて日本を冷静に観察し、記録した。それらの見聞記を元に著者が再現した日本は、まばゆいばかりの“光の帝国”でした。資本主義という“悪魔のひき臼”—これは、資本主義的市場経済が旧社会をいかに解体したかを考察した経済社会史研究の名著『大転換』の章のタイトルとして、その著者カール・ポラニーがブレイクの詩篇『ミルトン』から採った言葉—に粉々にされる直前の日本が、どれほど美しかったか。それは、あまりにまぶしかったので、ほとんどの日本の知識人は今まで「そんなのオリエンタリズムが生んだ幻想だよ」とかなんとか、体裁のよいことをいって、ごまかしてきたのです。さて、われわれ、つまりすっかり産業化しつくされた現代人は、江戸の光をどう受けとめたらよいもののでしょうか。著者本人は、この“光の帝国”は今のわれわれと何の関係もない、それは「逝きし世」（逝く＝死ぬ、ですね）なのだ、といっていますが。



3.『祖先の物語(上・下)』 /リチャード・ドーキンス 小学館 花川館所蔵 請求記号：467|D47|1-2

著者リチャード・ドーキンス（1941～）は『利己的な遺伝子』で一躍世界的に有名になった生物学者。とにかくシャープでウイットに富んだ文章の書き手として抜群です。本書は、生物進化史の啓蒙書ですが、普通にやるとどうしても人間が進化の頂点にある存在になってしまう。そこで、ドーキンスは考えた。人間から出発して進化の歴史を後ろ向きに遡ってみよう。そうしたら人間の祖先への旅は、進むにつれ、他の諸々の生き物たちとも合流して、すべての生き物共通の祖先への巡礼の旅となるだろう。すごく楽しい本です（以下、社会生物学論争をからめて生物学・人類学・進化心理学の諸書の紹介、といきたかったのですが紙面が尽きました。続きはまたの機会に）。

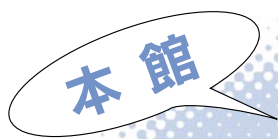


う～ん、本当に
こんなんでもいい
んですか？なん
がバラバラな…

いいのです。“最少労力で勉強こなそう”として
きた今までの君自身の小利口さを全否定して初
めて有意義な大学生生活はスタートするのだ。
よんひやくまん、よんひやくまん。
私を信じなさい

本文中で引用 された本の紹介 (本学所蔵分)

グド戦記／アーシュラ・K・ル＝グウィン著 本館・花川館ともに所蔵 A933.5|L52|1～
グド戦記 (DVD) /宮崎悟朗監督 本館所蔵 e|DV|1441:1-2
指輪物語／J・R・R・トールキン著 本館・花川館ともに所蔵 933.9|To47|1～
イシ:北米最後の野生インディアン／シオドーラ・クローバー著 本館所蔵 閲覧室文庫架 389|Kr6
神風運とその時代／渡辺京二著 本館所蔵 210.6|W46
評伝 宮崎滔天／渡辺京二著 本館所蔵 289.1|M188w
北一輝／渡辺京二著 本館所蔵 289.1|Ki61w
大転換：市場社会の形成と崩壊／カール・ポラニー著 本館所蔵 332|P76
利己的な遺伝子／リチャード・ドーキンス 本館所蔵 467|D47



図書館特別展示紹介

「コルデコット賞」受賞作品

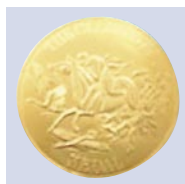
図書館本館では入口付近にて特別展示を開催しています。足を止めてご覧になったことがある方は、定期的に内容が変わっていることにお気づきでしょうか？この特別展示は一人の館員が企画から制作まで全てをこなし、大体二ヶ月に一度くらいの頻度で入れ替えをしています。今年度、英語文化学科の平松先生から特別展示テーマのご提案があり、先生のご協力を得て「コルデコット賞」受賞作品についての展示を2008年9月より約二ヶ月に渡って開催しました。

コルデコット賞 (The Caldecott Medal) とは、挿絵画家・イラストレーターを対象に1937年にALA (American Library Association)によって設けられた賞で、毎年、その前年に出版された絵本の中で最も優秀と認められた作品の挿絵画家に贈られています。コルデコット賞の名前は19世紀のイギリス人挿絵画家Randolph Caldecottに敬意を表したものです。

これに対して児童文学作品に与えられる世界的な賞としてはニューベリー賞 (The Newbery Medal) があります。ちなみに、18世紀児童文学出版者、イギリス人John Newberyの名にちなんだものです。

コルデコット賞が設けられた当初は、対象作品はアメリカで出版され、かつ画家はアメリカ国籍を持つか、アメリカに住んでいることが条件でした。さらに同じ作品がニューベリー賞とコルデコット賞に選ばれることは禁じられていました。しかし1977年のALA理事会の決定により、本が出版された国や作家・画家の国籍を問わぬ現在の形になり、二つの賞を同時受賞することにも道が開かれました。1937年から2008年まで62作品がコルデコット賞を受賞しています。

今回の展示では挿絵画家やイラストレーターに送られる賞の受賞作品だけあって、見た目にもとても華やかで楽しい表紙の絵本がずらりと並びました。現在は別の展示は開催されていますが、展示していた絵本は英語文化学科の指定図書コーナーに置かれています。



コルデコット賞受賞作品の目印は表紙の「ゴールドメダル」です。ぜひお手に取って眺めてみてくださいね。

◀コルデコット賞受賞作品の「ゴールドメダル」

学生さんに紹介したい本はありませんか？先生方からのテーマのご提案お待ちしております！

□ 番外編 □ 新着書紹介展示

図書館前の展示ボードとカウンター前新着書コーナーにおいて、勉強に役立つ、話題の本…など色んな理由でおすすめしたい「今週はコレだ!!」という数冊をピックアップして紹介しています。毎週月曜日に入れ替えしますので、ぜひチェックしてみてください。

花川館

学生さんのオススメ本コーナー

図書館花川館では昨年10月から「学生さんによるオススメ本」というミニ展示コーナーを図書館内に設けました。このコーナーは人間生活学部の学生さんが、図書館花川館に所蔵している本の中から是非、在学生のみなさんに読んでほしい資料を紹介するコーナーで、2009年1月までに3人の学生さんにお願いをしました。今回、展示していただいた学生さんに感想を書いていただきました。特に手づくりPOP、コメントなどまるで本屋さんようです。学生、教職員のみなさま是非、手に取ってみてください。「学生さんによるオススメ本」は今年度も継続しますのでお楽しみに。

第1回 2008年10月 食物栄養学科4年 櫻井 希

読書をする習慣が主に若年齢層の間で少なくなり「活字離れ」と叫ばれて久しい昨今、今回行った企画は非常に斬新なアイデアだと思いました。勿論、藤の学生は読書習慣のある人が殆どですが、意外と自分の興味関心以外の本は図書館の何処に何があるのかわからないものです。そのため、できるだけ多くの人に様々な分野の本を知って貰おうということを中心にしました。新しい本の出会いにより新しい発見があるかもしれません。それは自分の知識を広げるだけでなく、視野までも広げることができると思います。一度OPACを用いて蔵書検索を行うだけでなく、図書館内を一周するのも良いと思います。

櫻井さんのオススメ本リスト

- | | | | |
|----------------|----------------|--------------------|---------------|
| 1. ノーム | 376.19 H98 | 7. ピタゴラ装置DVDブック | 507 P69 1-2 |
| 2. なぜ原子はつながるのか | 430.8 Ko78 1 | 8. ミヒャエル・ゾーヴァの世界 | 723 So93 |
| 3. 分子の形と性質 | 430.8 Ko78 2 | 9. 流星の絆 | 913.6 H55 |
| 4. 化学反応のしくみ | 430.8 Ko78 3 | 10. ミーナの行進 | 913.6 O24 |
| 5. 物質を設計する | 430.8 Ko78 4 | 11. 泣かないでパーティはこれから | 913.6 Y97 |
| 6. 好きになる免疫学 | 491.8 H14 | | |



第2回 2008年11月 保育学科3年 藤平 円香

活字離れが叫ばれるようになって久しいですが、そんな時代を余所に、私は活字と共に、物語と共に成長してきました。思い返すと、幼い頃はいつも、日焼けしたページをめくりながら、周囲の音が聞こえなくなる程、物語の世界へ入り込んでいた気がします。今回の企画では、そんな別世界へと誘ってくれる素晴らしい物語や小説を、数冊ではありますが紹介させていただきました。また、それに伴いポップを製作したのですが、大好きな物語のイメージを膨らませて形にする作業は、本当に楽しいものでした。今回私が紹介した作品に出会い、1人でも多くの方が、その物語の世界観に浸り、楽しんでいただけたら幸いです。

藤平さんのオススメ本リスト

- | | | | |
|-------------------|-------------|-----------|-------------|
| 1. 分身 | 913.6 H55 | 5. 十一月の扉 | 913.6 Ta28 |
| 2. チョコレートコスモス | 913.6 O65 | 6. 秘密の花園 | A933.4 B93 |
| 3. 暗黒童話 | 913.6 O87 | 7. スノードーム | 933.9 Sh14 |
| 4. ドローセルマイアーの人形劇場 | 913.6 Sa25 | | |



第3回 2009年1月 人間生活学科3年 山本 あすか

私は1月にオススメの本を紹介させていただいたのですが、どんな本を選ぼうか本当に迷いました。でも、せっかくこのような機会をいただけたので、みなさんが普段あまり手にとることがないような本も紹介できたらいいなと思い、周囲の友人や家族の意見も参考にし本を選びました。POP作りも初めてで難しかったですが、少しでも見ていて楽しくなるようにという思いを込めてつくりました。私が紹介した本は本当にごく一部ですが、これを機に今まで読んでないようなさまざまな分野の本も読んでみてください。

山本さんのオススメ本リスト

- | | | | |
|------------------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 1. キャラクターいっぱいのおもしろおりがみ | 754 Ka46 | 6. アヒルと鴨のコインロッカー | 913.6 I68 |
| 2. 戸塚恵子のドールハウス | 759 To73 | 7. ぶらんこ乗り | 913.6 I75 |
| 3. 紫の履歴書 | 767 Mi68 | 8. ナイチンゲールの沈黙 | 913.6 Ka21 |
| 4. 案外、知らずに歌ってた | 909.1 G65 1 | 9. ロックンロールミシン (DVD) | e DV 256 |
| 5. ロックンロールミシン | 913.6 Su96 | 10. アヒルと鴨のコインロッカー (DVD) | e DV 614:1-2 |



※学年は展示開催当時のものです。

図書館実習生の感想から

本学図書館では2008年9月に図書館情報学課程の受講生2名を実習生として受け入れました。5日間という短い期間ではありましたが、図書館に関する業務を一通り体験していただきました。今回の実習を通して感じたことなどを、お二人にそれぞれ書いていただきました。

実習の5日間は、私にとってとても貴重であつたという間に過ぎてしまいました。実習初日からかなり緊張していましたが、職員の皆さんは優しく丁寧に説明して下さりわかりやすかったです。温かく、てきぱきと対応しているのを見て、司書に一番求められているのはコミュニケーションのやりとりだと感じました。特に印象に残った言葉は「図書館は10年先の未来を見据えている」ということです。資料は財産であり生の講演で味えるライブ的要素はもちませんが、これからも存在するものとして大切な存在です。この実習を通して、利用者に求めていることをできるだけの情報を駆使して正確に伝えられることは難しいことだと思いました。是非実習で学んだことを生かし、「未来が見える図書館」に貢献できたらと思います。

英語文化学科3年 西 友里恵

私は、日ごろお世話になっている藤女子大学図書館にて実習させていただきました。

まず、私は、図書館情報学課程で勉強しているにも関わらず、いかに「図書館司書＝カウンターでの貸出、返却業務」と思い込んでいるかを思い知らされました。カウンターでの貸出、返却業務は、仕事のほんの一部でしかないことや、本は受入や装備等の細かな作業によって、初めて借りられる状態になるのだということを実感しました。

北海道地区大学図書館相互利用サービスやレファレンスサービスの重要性等、利用者として知らなければ損をするような情報を沢山教えていただきました。これらのサービスの存在を実際に知っていて利用している学生は少ないと思います。私たち実習生だけではなく、全学生にも、図書館の良さを知っていただきたいなと思います。

図書館情報学課程で学ぶのは勿論大切ですが、実際に図書館で体験をしなければわからないことが沢山あると思うので、実習をする機会があれば積極的に参加することをお勧めします。

文化総合学科3年 山口彩香

～2008年度 図書館のあたらしい動き～

- 2008年10月** データベースのCiNii及びJDream II の検索結果のリンクから、OPAC（オンライン蔵書検索）で本学の所蔵を確認できるようになりました。また、当館に所蔵が無かった場合に他大学から取り寄せする（実費がかかります）時にも、データベースの情報がそのまま依頼に使えるため、大変便利です。ご活用ください。
- 11月** 「日国オンライン」（日本国語大辞典第二版のオンラインデータベース版）が利用できるようになりました。図書館ホームページトップからご利用ください。
- 11月** 「OPACからのキャンパス間資料取り寄せサービス」の試行を開始しました。他キャンパスの本の取り寄せがオンラインからできるようになっています。詳しくはお気軽にカウンターにお問い合わせください。

☆その他最新情報は図書館ホームページ(<http://library.fujijoshi.ac.jp/>)で随時発信中です。

図書館委員会からのお知らせ

—図書館の中期五ヵ年計画 2008年度から2012年度—

中期目標	中期計画
1. 図書館としての達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館サービスの充実 ・ 電子図書館機能の充実
2. 業務運営の改善及び効率化に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検評価及び外部評価の実施と公表 ・ 職員養成 ・ 外部・内部研修の充実
3. 図書館サービスの改善に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者のニーズにあった開館時間の延長 ・ 本・花川館所蔵資料の搬送サービスの拡大 ・ レファレンスサービスの高度化 ・ ILLサービスシステムの有効活用 ・ 社会貢献事業の検討
4. 研究支援に関する目標 研究者に研究遂行上必要な学術情報を提供し、研究支援を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術研究コンテンツの整備を推進 ・ 研究者支援サービスの充実
5. 学習・教育支援に関する目標 学生が自主的に学習するための環境を整え、基本図書を整備して学習・教育支援を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の情報活用能力を育てるため、体系的な情報リテラシー教育支援を実施 ・ 学生の学習・教育に必要な図書館資料の充実 ・ 指定図書制度の確立 ・ 講義と連携した蔵書構築のため、教員と協働してシラバス掲載図書及び講義関連図書の整備充実と活用（OPACとのリンク）
6. 図書資産の適正な管理に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料の効率的保存 ・ 適正な除籍 ・ 蔵書点検
7. 広報の改善に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館報「図書館だより」の有効活用 ・ ホームページの活用
8. 電子図書館機能に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所蔵資料へのアクセスの改善、所蔵データベースの整備 ・ ネットワーク情報の利用環境の改善 ・ 電子ジャーナルの整備 ・ ポータルシステムの導入 ・ 機関リポジトリの検討
9. 施設設備の整備などに関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新図書館建設に向けての検討
10. 学外機関との連携に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連機関との共同事業の推進

*紙幅の関係で、中期目標に対する中期計画について主な事項のみ掲載しました。

～図書館の利用状況から～

本学図書館が2008年4月1日から12月末日までに利用者に貸出した図書の冊数は52,759冊です。昨年度の同じ期間と比較すると、約3,000冊増加しています。入館者は前年度と比較して約2,000人減少しています。

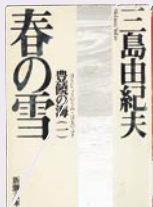
	4月—6月	7月—9月	10月—12月	合計
入館者数 (人)	31,863 (34,436)	24,124 (23,644)	30,625 (30,525)	86,612 (88,605)
館外貸出冊数※ (冊)	16,278 (15,721)	15,550 (14,456)	20,931 (19,604)	52,759 (49,781)

※館外貸出冊数はデータ貸出のみ、本館・花川館合わせた数字です。()内の数字は前年度のものです。

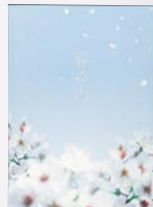
図書館員の **オ ス ス メ 本** ～第6回～

多くの小説や戯曲が、映画化されたり芝居などで演じられたりしていますね。“読んだことのある物語、映画ではどう描かれているのだろう…”、“映画で初めて知った小説、原作も読んでみようかな…”。同じ作品でも、それぞれにまた違った感想をもたれることと思います。今回は、映画化された作品の原作とDVD(またはVHS、LD)を、共に図書館で所蔵しているものの中から、一部ですがご紹介いたします。本も映画も、両方の魅力をお楽しみください。

春の雪 (『豊饒の海』第一巻)



〈図書〉
三島由紀夫著
新潮社
花川館 913.6(N153)1
(本館にも所蔵あり)



〈DVD〉
本館
e||DV||1365:1-2

大正初期の上流社会、侯爵の息子・松枝清顕と、伯爵の娘・綾倉聡子の悲恋の物語。『豊饒の海』は、「春の雪」「奔馬」「暁の寺」「天人五衰」の四部作からなる長編小説で三島由紀夫最後の作品。「春の雪」の後註に、『豊饒の海』は『浜松中納言物語』を典拠とした夢と転生の物語とあり、主人公は夭折し、次の巻の主人公に生まれ変わっていく。映画は、大正浪漫の映像と、ストーリーは楽しめますが、主人公の心理描写や三島由紀夫の美しい文章を味わうには、やはり原作を読んでみてください。

西の魔女が死んだ



〈図書〉
梨木香歩著
新潮社
本館 913.6(N155)
閲覧室文庫架



〈DVD〉
本館
e||DV||630:1-2

登校拒否になった中学生のまいは、夏の初め、田舎で暮らす“西の魔女”こと英国人の祖母、“大好きなおばあちゃん”と過ごす。まいは自分も超能力が持てるようになるかもしれないと、おばあちゃんの手ほどきで魔女修行をすることに。「魔女になるために大切なのは、意志の力。自分で決める力。自分で決めたことをやり遂げる力です…。」おばあちゃんの教えは大人になった私たちの心にも響いてきます。映画の祖母役のサチ・パーカー(Sachi Parker)は、2歳から12歳まで日本に住んでいたそうで、セリフの日本語がとても自然です。

〈西の魔女が死んだ〉は第28回日本児童文学者協会新人賞等を受賞

「十二夜」(原書名: Twelfth night)



〈図書〉
シェイクスピア著
小津次郎訳
岩波書店
本館 932.33(P8:099)
閲覧室文庫架



〈DVD〉
Twelfth night
本館
e||DV||1432:21

シェイクスピアのロマンティック・コメディの一つ。1600年頃(推定)に執筆された戯曲。双子の兄妹、セバスチャンとヴァイオラは船の難破で、離れ離れになる。イリリアに漂着したヴァイオラは男装し、当地の公爵オーシーノウに仕える。オーシーノウは伯爵令嬢オリヴィアを愛しており、ヴァイオラを恋の使者としてオリヴィアのもとへ送る。が、オリヴィアはヴァイオラを男装の女性とは知らずに恋してしまう。ところが、ヴァイオラはひそかに公爵を慕っていた…。 “人違い”が引き起こす恋の三角関係。執事マルヴォーリオラを中心とするもう1つの “人違い”の物語も展開される。シェイクスピアは難しそうと敬遠しがちな方も、喜劇からシェイクスピアの作品にふれてみてはいかがでしょうか。

// 編 / 集 / 後 / 記 //

77号の巻頭言に永田理事長より「読書のすすめ」、関谷先生から「新入生のみなさんへ(読書案内)」という題でご寄稿いただきました。永田理事長、関谷先生にはこの場を借りてお礼申し上げます。雪が解けて暖かくなり、新年度がスタートしました。新入学生のみなさん入学おめでとうございます。これから4年間の大学生活が始まりますね。藤女子大学には北16条キャンパス(本館)と花川キャンパス(花川館)に2つの図書館があります。どちらの図書館も利用することができます。図書館の中を探検すると意外な資料に出会うことがあるかもしれませんよ。図書館の利用等についてわからないことがありましたらスタッフに声をかけてください。みなさんのご来館をお待ちしております。

藤女子大学 図書館だより 第77号 2009.3

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770

<http://library.fujijoshi.ac.jp/>